

# 市長のまち探検

並木市長が訪問した企業や事業所、市民活動団体を紹介します。

Vol.12



今回紹介するのは

理研コランダム株式会社

所在地：鴻巣市宮前547-1

問合せ 秘書課（内線2014）



研磨布紙は様々な商品に使用されている

研磨布紙と聞くと、皆さん何を思い浮かべますか？小学校の図工の時間に、木を紙やすりでこすったときの、あの感触を思い出す方も多いのではないのでしょうか。

今回、市長が訪問したのは、旧中山道から住宅街に入った一角に位置する理研コランダム株式会社。同社は、1935年に創業し、理化学研究所で開発された研磨材をもとに、研磨布紙の製造・販売を目的として設立されました。1965年から市内で加工工場を稼働してきた長い歴史を持つ企業です。地域に根差した企業の取組をご紹介します。



社員食堂で理研コランダムの皆さんと懇談

## 製造業を支える確かな技術

同社の製品は、大半はB to B（企業間で行われる取引）向けのもので、自動車、木工、鉄、ステンレスなど幅広い分野において使用されており、国内のみならず世界の製造業を支えています。一般の方の目に触れる機会は少ないですが、ホームセンターで販売されている商品には当社の製品が使われているものも多くあります」と藤原工場長は話します。「去年の12月に創立90周年を迎えました。一般には広く知られていない業界の中で、長く活動できたのは、先輩方から引き継いだ技術力と、お客様からの信頼があったからではないかと思っています」とその表情には揺るぎない自信が感じられました。

## 多様性が生む成長力

中国出身のチョウさんは、日本の大学を卒業後、理研コランダムに入社して11年目になります。「中国とのつながりや技術分野に魅力を感じて入社しました」とこれまでの歩みと仕事への想いを語ってくれました。ベトナム出身のティンさんは、前職の上司が2年前に理研コランダムに入社したことをきっかけに自身も同社に転職しました。

「今の目標は、会社の売上を伸ばすこと。小さな取組を積み重ねて、大きな成果につなげたい」と意気込みます。



世界の製造業を支える社員の皆さん

## 地域への貢献

両貝常務取締役は「当社で

は、4年かけて本社・工場のリニューアルを実施しました。工場があることで近隣住民の皆さんに迷惑をかけないように大きな煙突や高架水槽を撤去し、雨水を敷地内で処理できるように整備しました」と話してくれました。また、社員の皆さんは、1年前から毎朝小学校の登校時間に保護者の皆さんと交通安全活動を実施しており、地域住民の皆さんに寄り添う姿勢が見受けられました。

増田社長は、「昔は、地元小学校の児童が社会科見学に来ていた時期もありました。今後、市内小学校の児童に社会科見学に来てもらいたいと考えています」と語ってくれました。

## 懇談を終えて

B to Bという形で一般には見えない業界でありながら、製造業の幅広い分野を支え、確かな品質で信頼を築いてこられたことに深く感銘を受けました。また、本社・工場のリニューアルによる環境配慮、そして小学校の登校時間帯にこそ子供達を見守る安全活動など、地域と共に歩む姿勢にも心を打たれました。地域に根差した取組と技術力で、これからも市の産業を力強く支えてくださることを期待しています。